

東アジアの 「環境」安全保障

風上・風下論を超えて

2012.6.10 [日] 13:00~17:30 / 12:30開場

聴講
無料

エルガーラホール・8階大ホール 定員 お申込み 先着300名

主催／総合地球環境学研究所、九州大学東アジア環境研究機構

後援／福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、西日本新聞社



東アジアの安全保障が脅かされています。たとえば黄砂や酸性雨の問題。あるいは河川の汚染。あるいは食品の安全。さらにいえば、鳥インフルエンザやSARSのような感染症の蔓延もあげられます。いずれも、広い意味で環境問題であり、国境を超えて影響が及びます。

近年、人やモノの往来は加速度的に増え、関係距離も近くなってきています。これまで、越境する環境問題は発生源とその影響を受ける地域として捉えがちでした。そして日本は、東アジア地域において被害を受ける側として位置づけられてきました。しかし、福島原発の事故で想起されるように、日本も他国の環境に被害を及ぼしうる可能性があります。過去に遡れば、間接的ではあれ公害を輸出していた事実もあります。

「環境」安全保障は、我々一人一人の課題です。国家の安全保障とは異なり、「彼らの問題は我々の問題であり、我々すべての問題である」というコンセンサスが必要とされます。そのために、風上・風下論を超えて、東アジアの今日の安全保障について議論したいと思います。

【趣旨説明】 大槻恭一 ●九州大学東アジア環境研究機構・教授(農学研究院)

阿部健一 ●総合地球環境学研究所・教授

講演

東アジアの大気・海洋越境環境問題

柳 哲雄 ●九州大学東アジア環境研究機構・教授(九州大学応用力学研究所)

黄砂と生態系のつながりを探る

中野孝教 ●総合地球環境学研究所・教授

江戸から学ぶ循環社会—アジアの知恵を世界に—

矢部光保 ●九州大学東アジア環境研究機構・教授(農学研究院)

国境を越えた環境協力の可能性

窪田順平 ●総合地球環境学研究所・教授、中国環境問題研究拠点リーダー

●ワークショップ報告

【報告】 ウヤル・アイスン ●総合地球環境学研究所・助教 / アジアからの留学生(九州大学)

●パネルディスカッション

【パネリスト】 柳 哲雄 / 中野孝教 / 矢部光保 / 窪田順平 / ウヤル・アイスン

【コーディネーター】 島岡隆行 ●九州大学東アジア環境研究機構・教授(工学研究院) / 阿部健一

東アジアの「環境」安全保障

風上・風下論を超えて

第11回地球研地域連携セミナー FUKUOKA
九州大学百周年記念事業

● 開会挨拶 落合英俊(おちあい・ひでとし) / 九州大学・理事(副学長)、九州大学東アジア環境研究機構・副機構長

● 趣旨説明



大槻恭一(おおつき・きょういち)

九州大学東アジア環境研究機構・教授(農学研究院)
陸域の水・熱・CO₂収支の要となる蒸発散の研究を軸に、農業用水の管理、砂漠化の防止、森林管理による流域環境制御を研究。現在の専門は森林水文・水資源学。



阿部健一(あべ・けんいち)

総合地球環境学研究所・教授
東南アジア熱帯林で生態学調査を続け、その過程で環境問題の文化的・社会的側面に興味を持つ。現在の専門は環境人類学・相関地域研究。

● 講演

東アジアの大気・海洋越境環境問題



柳 哲雄(やなぎ・てつお)

九州大学東アジア環境研究機構・教授(九州大学応用力学研究所)
京都大学理学部卒、京都大学大学院理学研究科地球物理学専攻修了。主な著書に「海洋学入門」(1988年)、「沿岸海洋学」(1989年)、「里海論」(2006年)(全て恒星社厚生閣)など。

黄砂と生態系のつながりを探る



中野孝教(なかの・たかのり)

総合地球環境学研究所・教授
筑波大学大学院地球科学研究科修了。専門は資源地質学、同位体環境学。地球研では、安定同位体等の手法を用いて人と自然のつながりを追跡している。主な著書に、高校教科書「地学I」と「地学基礎」(分担執筆、数研出版)など。

江戸から学ぶ循環社会—アジアの知恵を世界に—



矢部光保(やべ・みつやす)

九州大学東アジア環境研究機構・教授(農学研究院)
京都大学農学部卒、博士(農学)。農林水産省農林水産政策研究所環境評価研究室長、英国ロンドン大学主席客員研究員などを経て、現職。主な著書に「コメのバイオ燃料化と地域振興—エネルギー・食料・環境問題への挑戦—」(編著、筑波書房、2010年)

国境を越えた環境協力の可能性



窪田順平(くぼた・じゅんぺい)

総合地球環境学研究所・教授、中国環境問題研究拠点リーダー
京都大学大学院農学研究科修了。農学博士。専門は森林水文学。地球研では、乾燥地の水問題、資源利用の歴史的変遷のプロジェクト研究を行う。主な著書に「モノの越境と地球環境問題」(編著、昭和堂、2009年)など。

● ワークショップ報告

【報告】ウヤル・アイズ / アジアからの留学生(九州大学)



ウヤル・アイズ

総合地球環境学研究所・助教
龍谷大学、同志社大学非常勤講師。2008年山口大学東アジア研究科・博士号取得。専攻は国際関係論、国際政治経済および東アジア地域主義と環境地域主義。

● パネルディスカッション

【パネリスト】柳 哲雄 / 中野孝教 / 矢部光保 / 窪田順平 / ウヤル・アイズ
【コーディネーター】島岡隆行 / 阿部健一



島岡隆行(しまおか・たかゆき)

九州大学東アジア環境研究機構・教授(工学研究科)
九州大学工学部卒、九州大学大学院工学研究科修了。工学博士。福岡大学助教授を経て、現職。専門は埋立廃棄物の質変換、埋立廃棄物層中の物質移動、廃棄物の循環資源化、災害廃棄物など。主な著書に「災害廃棄物」(中央法規、2009年)。

● 閉会挨拶 立本成文(たちもと・なりふみ) / 総合地球環境学研究所・所長

【お問い合わせ先】(平日8:30~17:00にお問い合わせください)

九州大学東アジア環境研究機構

〒819-0395 福岡市西区元岡744 CE40棟
tel. 092-802-2567

総合地球環境学研究所 総務課企画室

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4
tel. 075-707-2173

エルガーラホール

〒810-0001
福岡県福岡市中央区天神1-4-2
tel. 092-711-5017

【アクセス】

- ・西鉄福岡(天神)駅より徒歩2分
- ・地下鉄空港線天神駅より徒歩5分
- ・地下鉄七隈線天神南駅より徒歩1分



参加申込書

セミナーに参加ご希望の方は①郵便番号、②住所、③氏名(ふりがな)、④電話番号、⑤FAX番号またはe-mailをご記入のうえ、郵便はがき、FAXまたはe-mailで下記までお申込みください。受講票をお送りいたします。

締切 2012年6月6日(水)

FAXでお申込みの方は必要事項を記入し、そのまま送信してください。
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4
総合地球環境学研究所 総務課企画室

住所	〒 _____		
ふりがな		電話番号	
氏名		e-mail	
FAX番号			

FAX

075-707-2106

e-mail

moshikomi@chikyu.ac.jp

※この申込みを通じて得た個人情報は、連絡業務のみに使用させていただきます。